

**2020 年度卒業・修了時満足度調査に関する分析**  
(公表版)

2021 年 9 月  
埼玉大学教育機構



## 【目次】

### I 学部(学士課程)

I-1	回答者の特性	.....	1
I-2	卒業後の進路	.....	2
I-3	科目群ごとの満足度	.....	3
I-4	能力、姿勢、態度	.....	4
I-5	学士課程のディプロマ・ポリシーに関連する項目で身についた点	.....	5
I-6	教育に関する総合満足度	.....	7
I-7	本学の推奨度	.....	8

### II 大学院(博士前期課程・修士課程、専門職学位課程)

II-1	回答者の特性	.....	9
II-2	能力、姿勢、態度	.....	10
II-3	大学院課程のディプロマ・ポリシーに関連する項目で身についた点	.....	11
II-4	教育に関する総合満足度	.....	12
II-5	本学の推奨度	.....	13

### III 大学院(博士後期課程)

III-1	回答者の特性	.....	14
III-2	能力、姿勢、態度	.....	15
III-3	大学院課程のディプロマ・ポリシーに関連する項目で身についた点	.....	16
III-4	教育に関する総合満足度	.....	17
III-5	本学の推奨度	.....	18

## 調査実施方法(学部)

○アンケート実施時期 : 2021年3月10日～2021年3月31日

○2021年3月卒業者数 : 1,514人

○有効回収数 : 725票

○回収率 : 47.9%(回収率は、有効回収数/3月卒業者数で計算した)

※本アンケートは、Web学生システムの「アンケート」により回答を依頼した。

※グラフの個々の数字は、小数点第二位以下を四捨五入しているため、数字を合計して100%にならない場合がある。

## I 学部(学士課程)

### I-1 回答者の特性

- ・ 回答者の学部別割合では、教養学部、経済学部、教育学部の回答者の割合が、卒業者の学部別割合より高くなっているため、全体の傾向としてみるには留意が必要である。(図1)
- ・ 学部別回収率は、教育学部が55.9%と最も高い割合となっている。次いで教養学部が49.5%、経済学部が48.7%、工学部が41.6%、理学部が41.1%となっている。(図2)

図1 卒業者・回答者の学部別割合

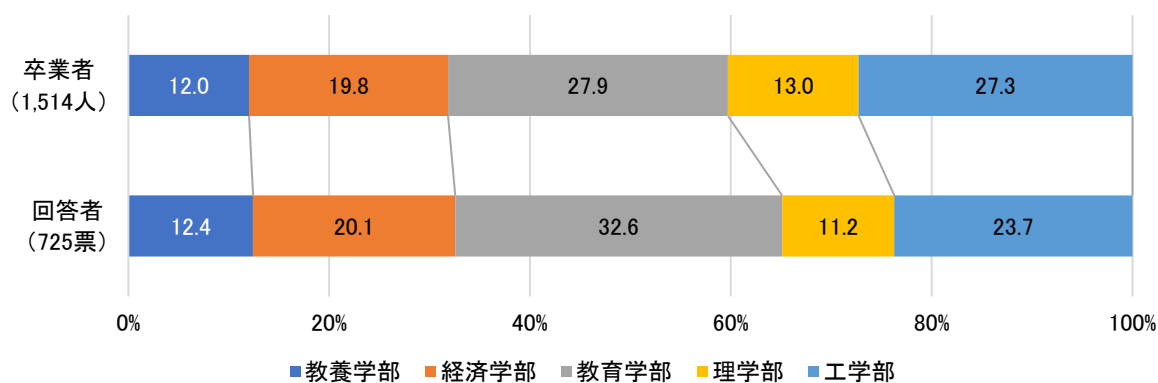
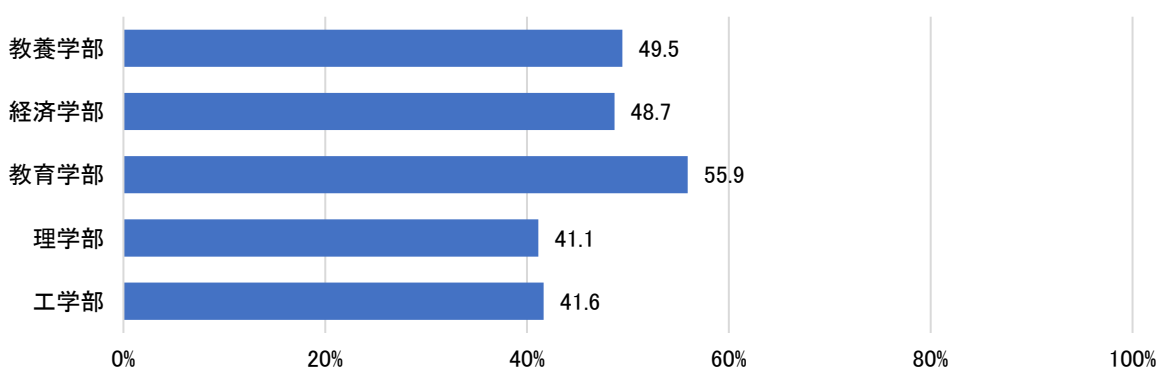


図2 学部別回収率



## I-2 卒業後の進路

- ・「進学」は 26.6% (うち本学研究科 22.9%)、「就職する」は 65.1%となっている。また、進学者全体における「本学研究科に進学する」学生の割合は 86.0%を占めている。(図3)
- ・「小・中・高等学校・特別支援学校教員、幼稚園教諭、保育士」は 23.6%、「情報通信業」は 14.3%、「地方公務員」は 13.3%、「製造業」は 6.6%、「金融業・保険業」は 5.5%となっている。(図4)

図3 進学される方は、進学先をお答えください。就職される方は「就職する」をお選びください。【進路別の割合】

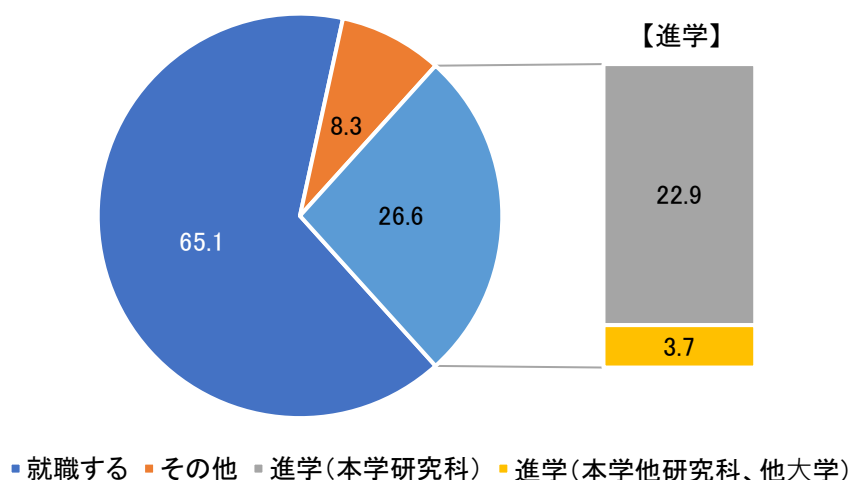
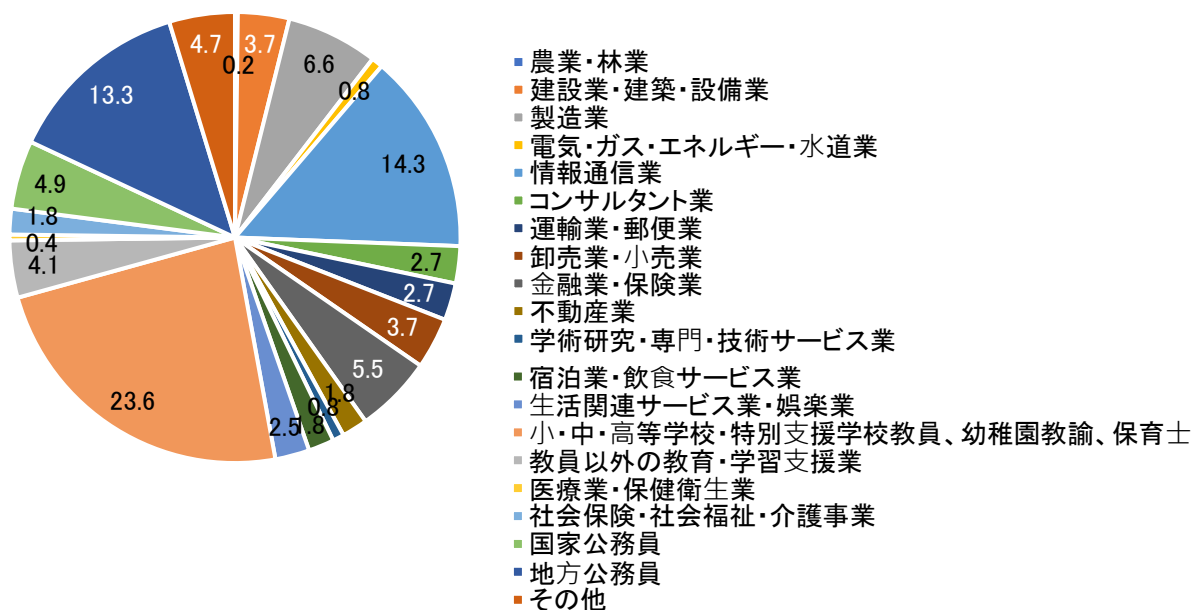


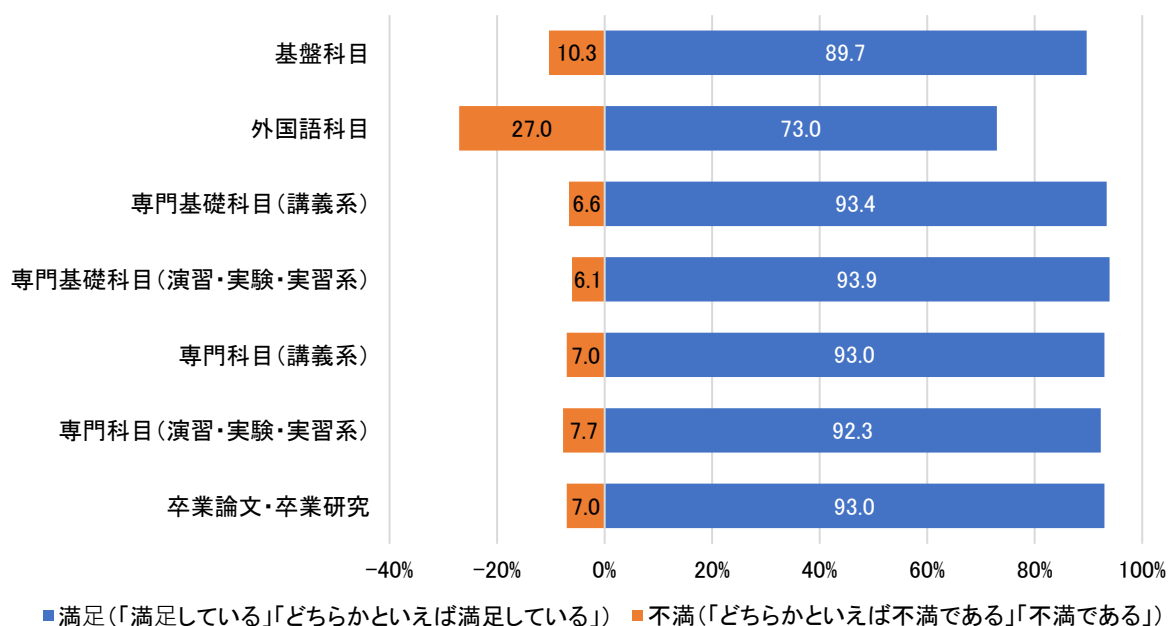
図4 就職される方は、就職先を以下のリストの中からお選びください。【業種別の割合】



### I-3 科目群ごとの満足度

・「専門基礎科目(講義系)」「専門基礎科目(演習・実験・実習系)」「専門科目(講義系)」「専門科目(演習・実験・実習系)」「卒業論文・卒業研究」の満足度は90%以上と高い。また「基盤科目」の満足度は90%近くになっている一方、「外国語科目」の満足度は73%にとどまっている。(図5)

図5 科目群ごとの満足度をお聞かせください。【満足度】

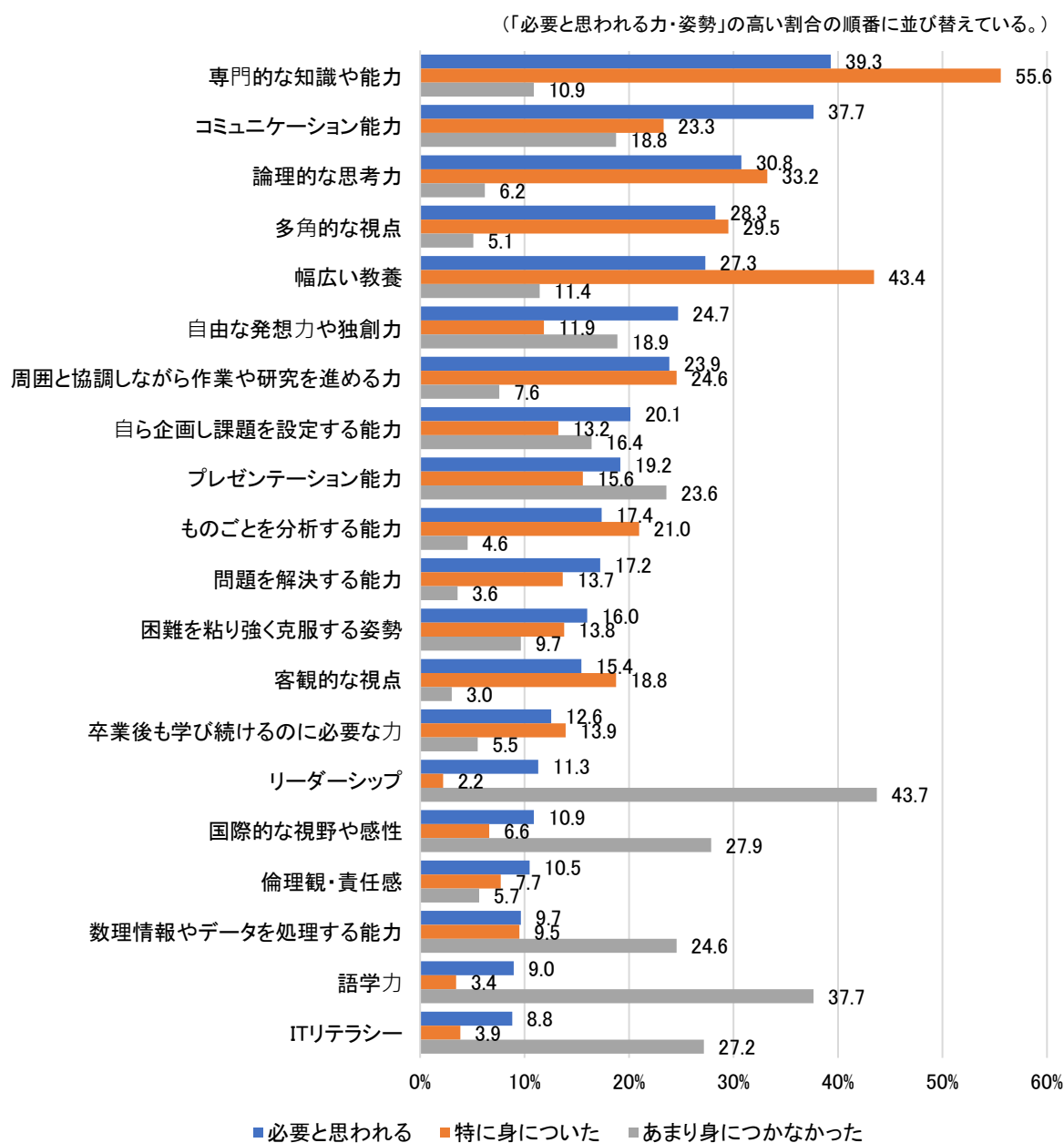


※科目群ごとの満足度について、「満足」の回答の割合は横軸の正の値、「不満」の回答の割合は横軸の負の値で示している。

## I-4 能力、姿勢、態度

- ・「専門的知識や能力」「幅広い教養」の「特に身についたと思われる力・姿勢」は、「特に必要と思われる力・姿勢」と比して割合が特に高くなっている。一方、「コミュニケーション能力」「自由な発想力や独創力」の「特に身についたと思われる力・姿勢」は、「特に必要と思われる力・姿勢」と比して割合が特に低くなっている。
- ・約4割の学生が「リーダーシップ」「語学力」があまり身につかなかったと回答している。

図6 大学を通じて特に身についたと思われる力・姿勢、あまり身につかなかったと思われる力・姿勢、これから学ぶ人に特に必要と思われる力・姿勢を5つまでお選びください。【回答の割合】



※ 回答の割合は、選択した回答数／全体の回答者数で計算した。

本質問項目では学部ごとの特徴が表れていたのので補足しておく。

・「必要と思われる」能力等については、教養学部および教育学部では「幅広い教養」が上位に位置していた。教育学部では「コミュニケーション能力」が最上位で、経済学部、工学部では「専門的な知識や能力」が最上位であった。これに対して教養学部では中位であった。「リーダーシップ」は教育学部では比較的上位に位置していたが、他の4学部では下位であった。「語学力」は教養学部以外は下位であり、「IT リテラシー」は5学部とも下位であった。

・「特に身についた」能力等について 50%を越える回答があったのは、教養学部「幅広い教養」74%、経済学部「幅広い教養」54%、教育学部「専門的な知識や能力」58%、理学部「専門的な知識や能力」77%、「論理的な思考力」54%、工学部で「専門的な知識や能力」67%であった。

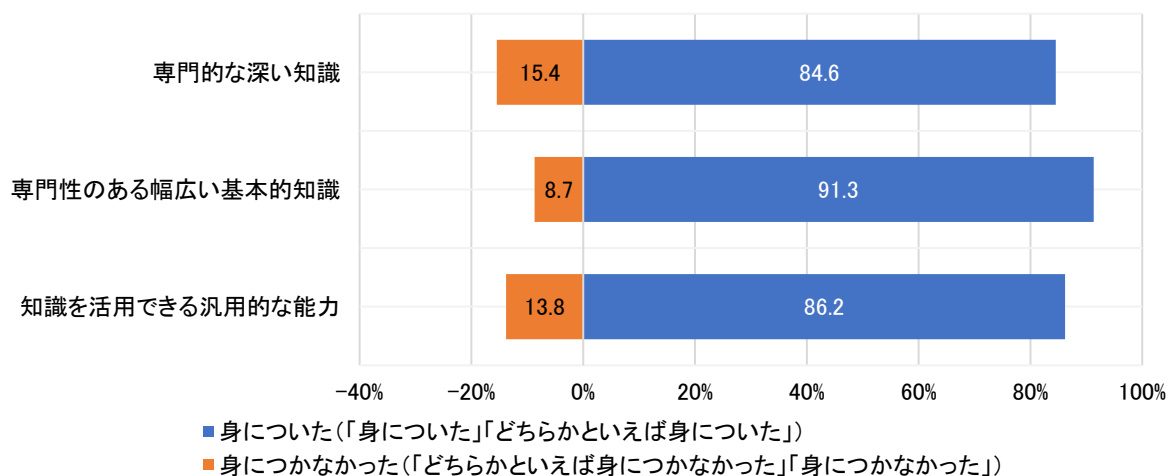
・「あまり身につかなかった」能力等について 50%を越える回答があったのは、教養学部「リーダーシップ」50%、「数理情報やデータ処理能力」50%、理学部「リーダーシップ」58%、「語学力」50%であった。



## I-5 学士課程のディプロマ・ポリシーに関連する項目で身についた点

・ 全ての項目で「身についた」の割合が8割以上となっている。(図7)

図7 自分がどの程度身につけられたと思うかをお答えください。【回答の割合】

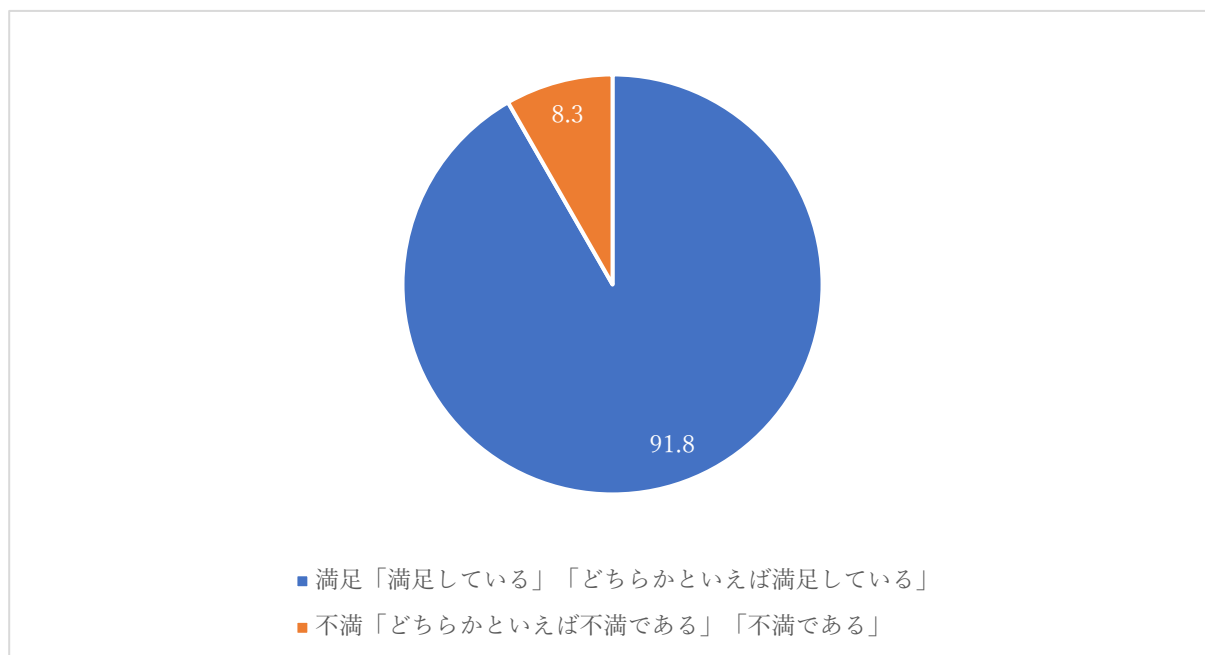


※回答の割合について、「身についた」の回答の割合は横軸の正の値、「身につかなかった」の回答の割合は横軸の負の値で示している。

## I-6 教育に関する総合満足度

・ 教育に関する総合満足度は 91.8%となっている。(図8)

図8 埼玉大学の教育に対して、総合的な満足度をお聞かせください。【満足度】

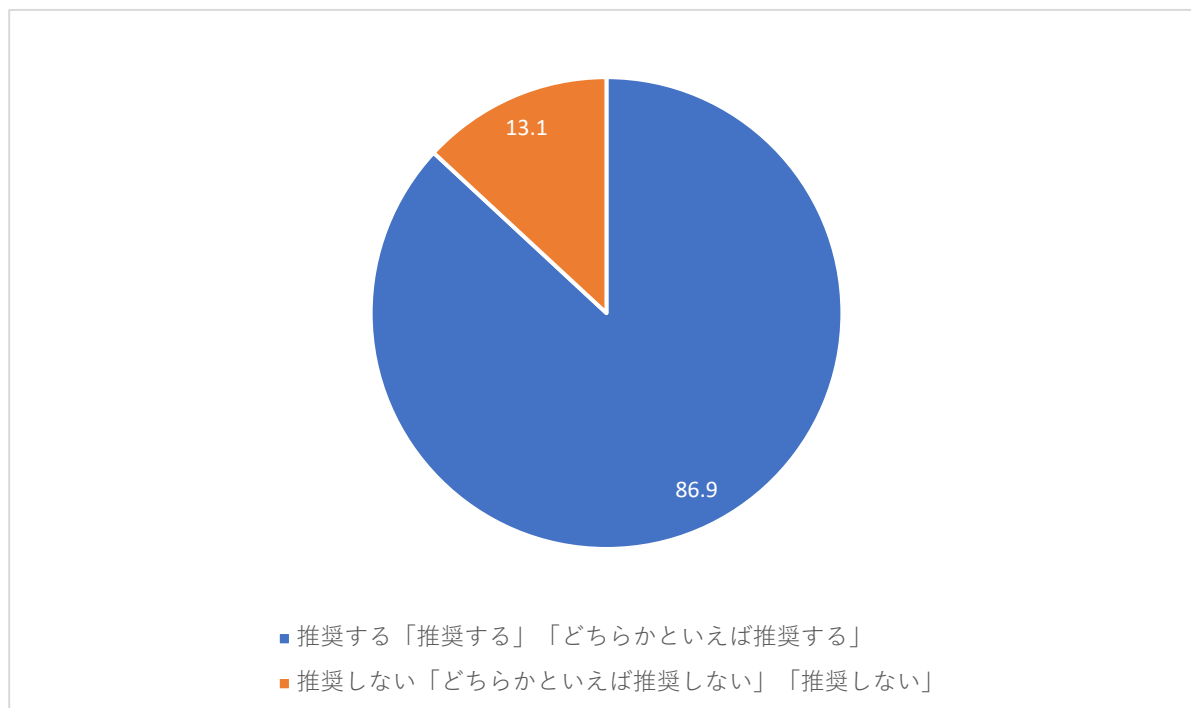


## I-7 本学の推奨度

- ・ 本学の推奨度は 86.9%となっている。(図9)

図9 もしあなたの友人や家族、親戚等が埼玉大学の受験を検討していたら、どの程度推奨しますか。

【推奨度】



## 調査実施方法(大学院)

○アンケート実施時期 : 2021年3月10日～2021年3月31日

○2021年3月修了者数 : 578人(うち博士前期課程・修士課程 532人、専門職学位課程 20人、博士後期課程 26人)

○有効回収数 : 347票(うち博士前期課程・修士課程 322票、専門職学位課程 10票、博士後期課程 15票)

○回収率 : 60.0%(回収率は、有効回収数/3月修了者数で計算した)

※本アンケートは、Web学生システムの「アンケート」により回答を依頼した。

※グラフの個々の数字は、小数点第二位以下を四捨五入しているため、数字を合計して100%にならない場合がある。

## Ⅱ 大学院(博士前期課程・修士課程、専門職学位課程)

### Ⅱ-1 回答者の特性

- ・ 回答者の研究科別割合は、人文社会科学研究科と教育学研究科の回答者の割合が、修了者の研究科別割合より高くなっているため、全体の傾向としてみるには留意が必要である。(図10)
- ・ 研究科別回収率は、人文社会科学研究科が77.0%と最も高くなっている。次いで教育学研究科が63.1%、理工学研究科が57.3%となっている。(図11)

図10 修了者・回答者の研究科別割合

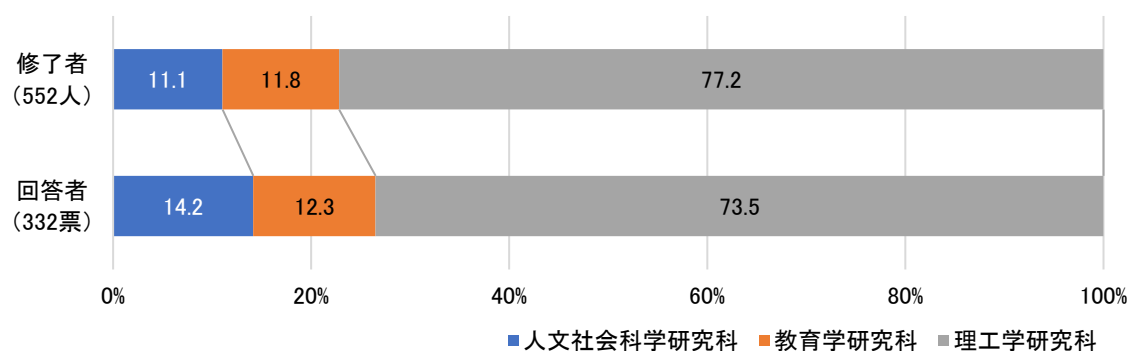
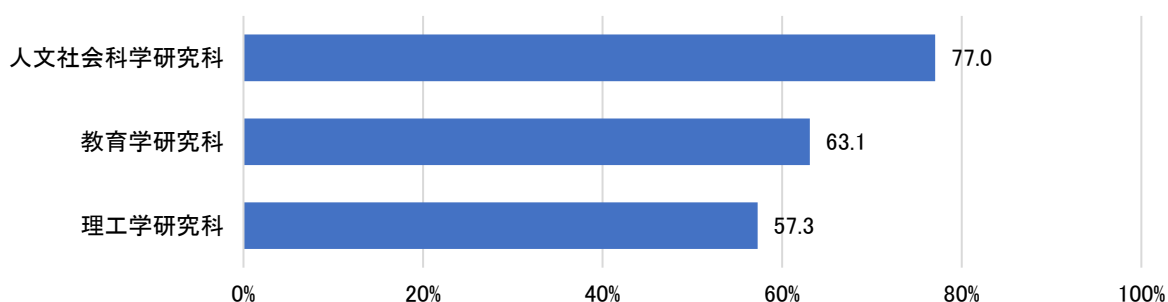


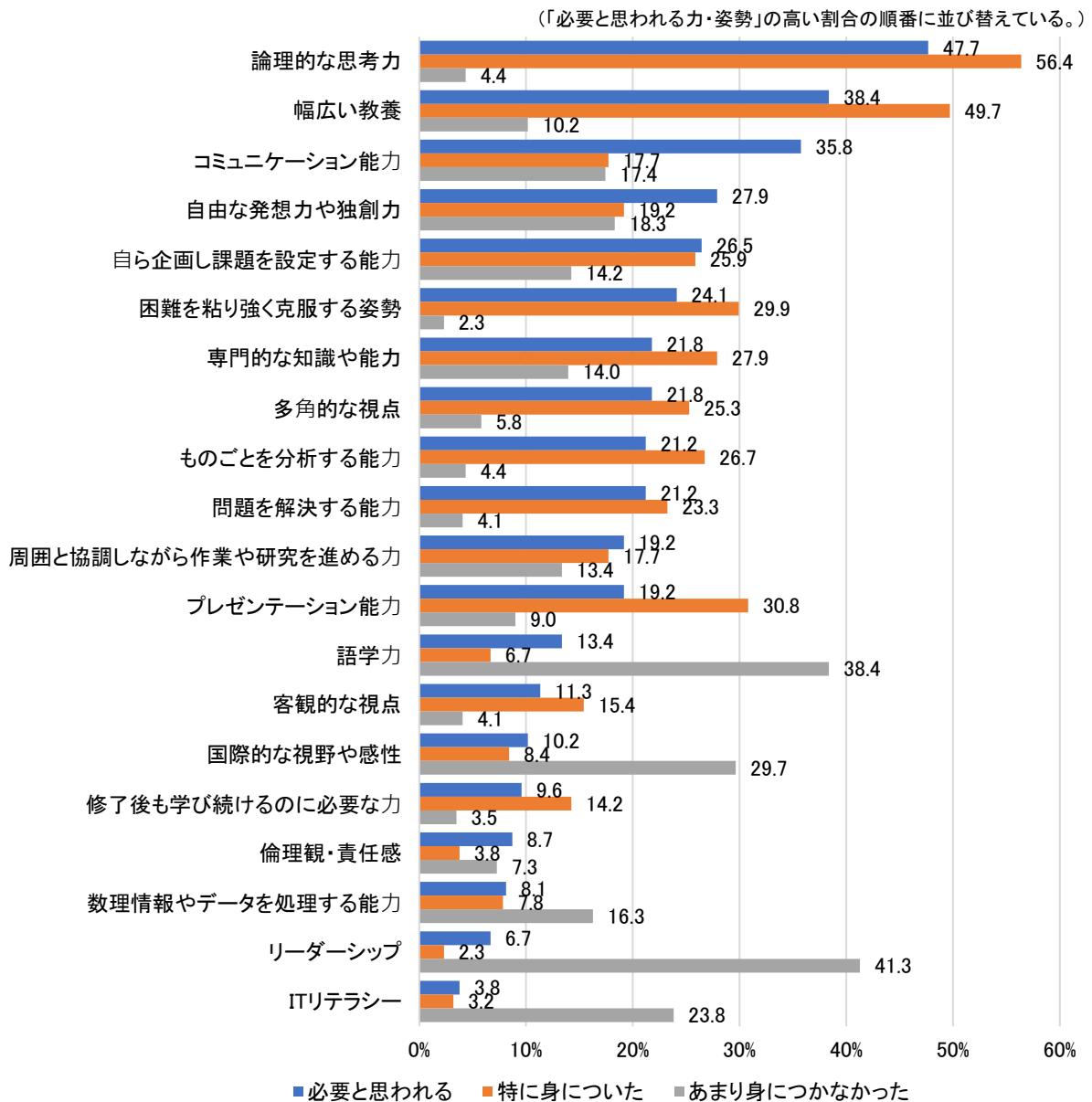
図11 研究科別回収率



## Ⅱ-2 能力、姿勢、態度

- ・「幅広い教養」「プレゼンテーション能力」の「特に身についたと思われる力・姿勢」は、「特に必要と思われる力・姿勢」と比して割合が特に高くなっている。一方、「コミュニケーション能力」の「特に身についたと思われる力・姿勢」は、「特に必要と思われる力・姿勢」と比して割合が特に低くなっている。
- ・約4割の学生が「語学力」「リーダーシップ」があまり身につかなかったと回答している。

図 12 大学を通じて特に身についたと思われる力・姿勢、あまり身につかなかったと思われる力・姿勢、これから学ぶ人に特に必要と思われる力・姿勢を5つまでお選びください。【回答の割合】

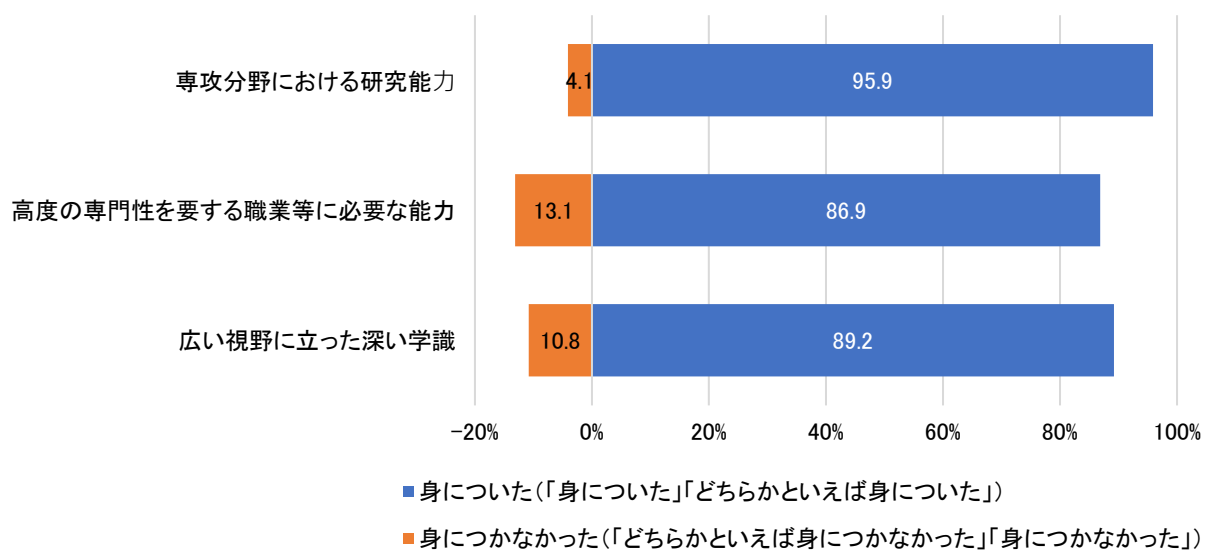


※ 回答の割合は、選択した回答数／全体の回答者数で計算した。

## Ⅱ-3 大学院課程のディプロマ・ポリシーに関連する項目で身についた点

・ 全ての項目で「身についた」の割合が8割以上となっている。(図 13)

図 13 自分がどの程度身につけられたと思うかをお答えください。【回答の割合】

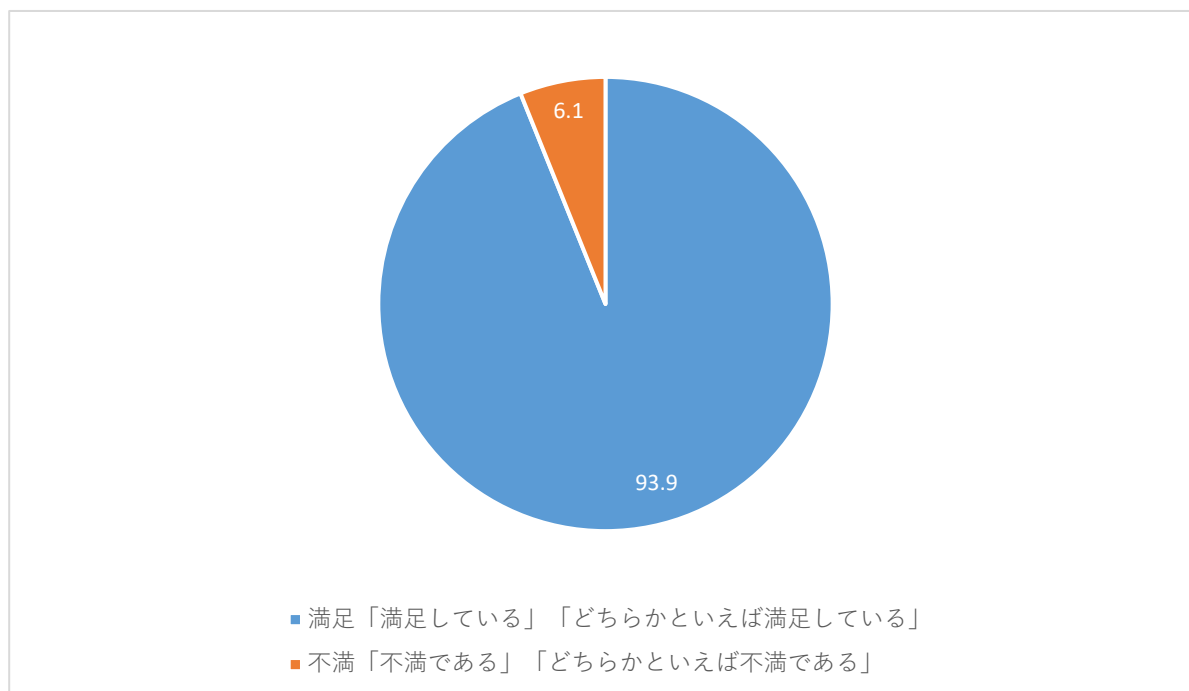


※回答の割合について、「身についた」の回答の割合は横軸の正の値、「身につかなかった」の回答の割合は横軸の負の値で示している。

## Ⅱ-4 教育に関する総合満足度

・ 教育に関する総合満足度は 93.9%となっている。(図 14)

図 14 埼玉大学の教育に対して、総合的な満足度をお聞かせください。【満足度】

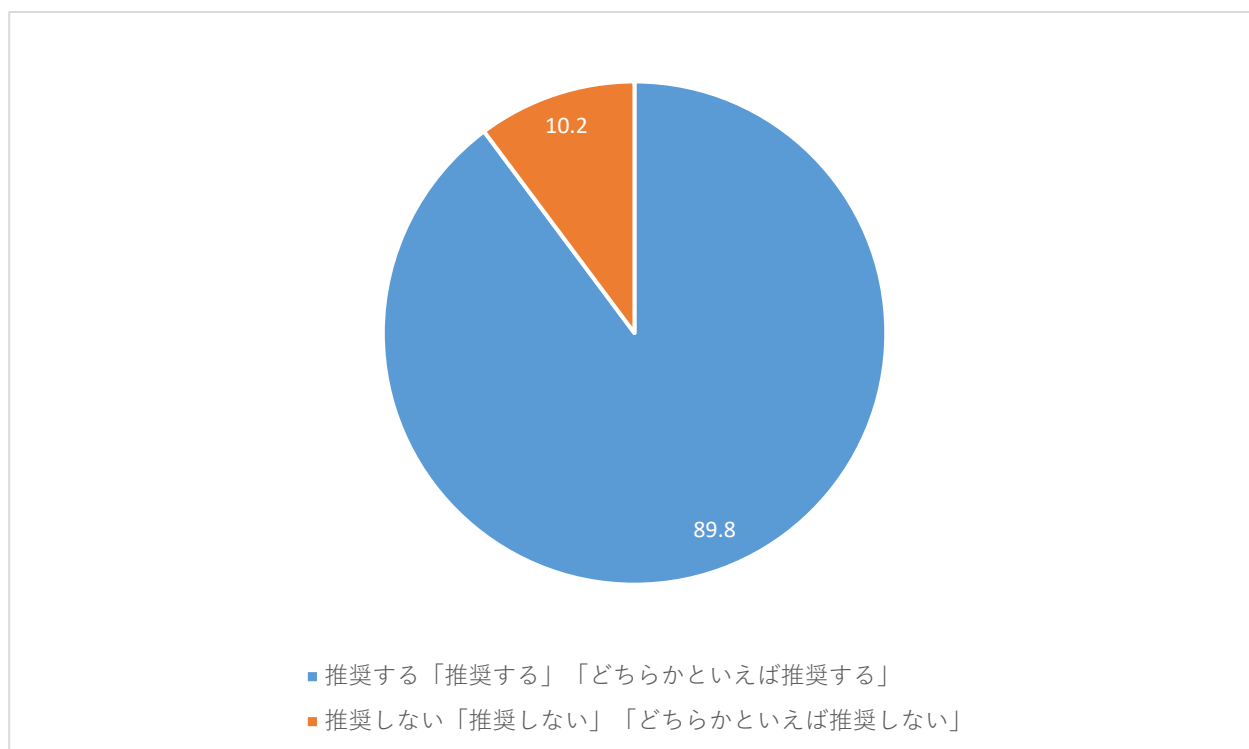


## Ⅱ-5 本学の推奨度

・ 本学の推奨度は、89.8%となっている。(図 15)

図 15 もしあなたの友人や家族、親戚等が埼玉大学の受験を検討していたら、どの程度推奨しますか。

### 【推奨度】





### Ⅲ 大学院(博士後期課程)

#### Ⅲ-1 回答者の特性

- ・ 回答者の研究科別割合は、人文社会科学研究科の回答者の割合が、修了者の研究科別割合より高くなっているため、全体の傾向としてみるには注意が必要である。(図 16)
- ・ 研究科別回収率は、人文社会科学研究科が 60.0%、理工学研究科が 57.1%となっている。(図 17)

図 16 修了者・回答者の研究科別割合

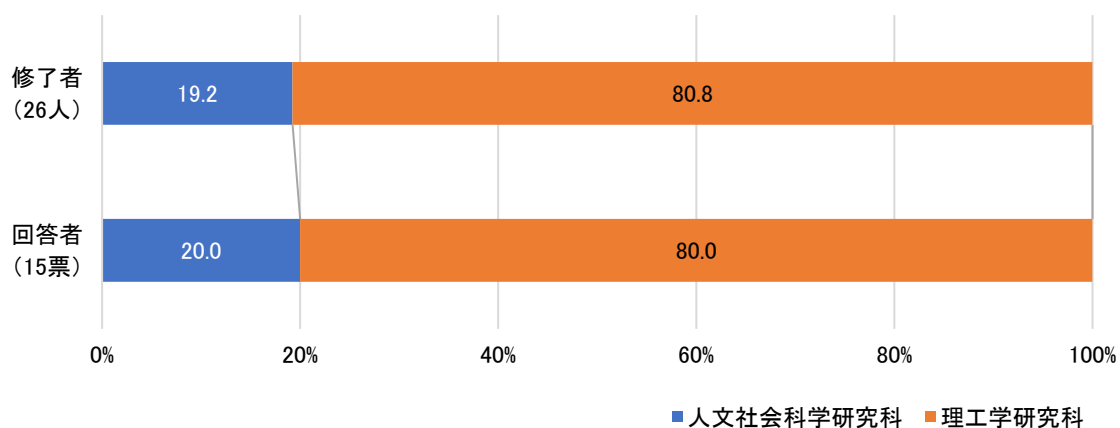
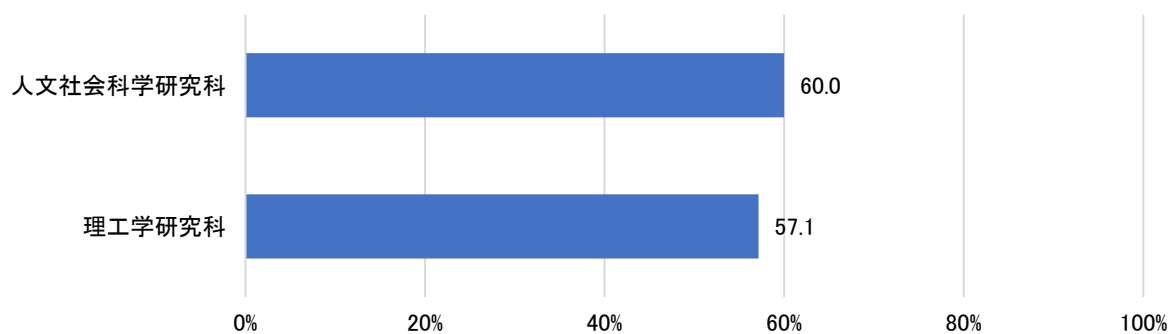


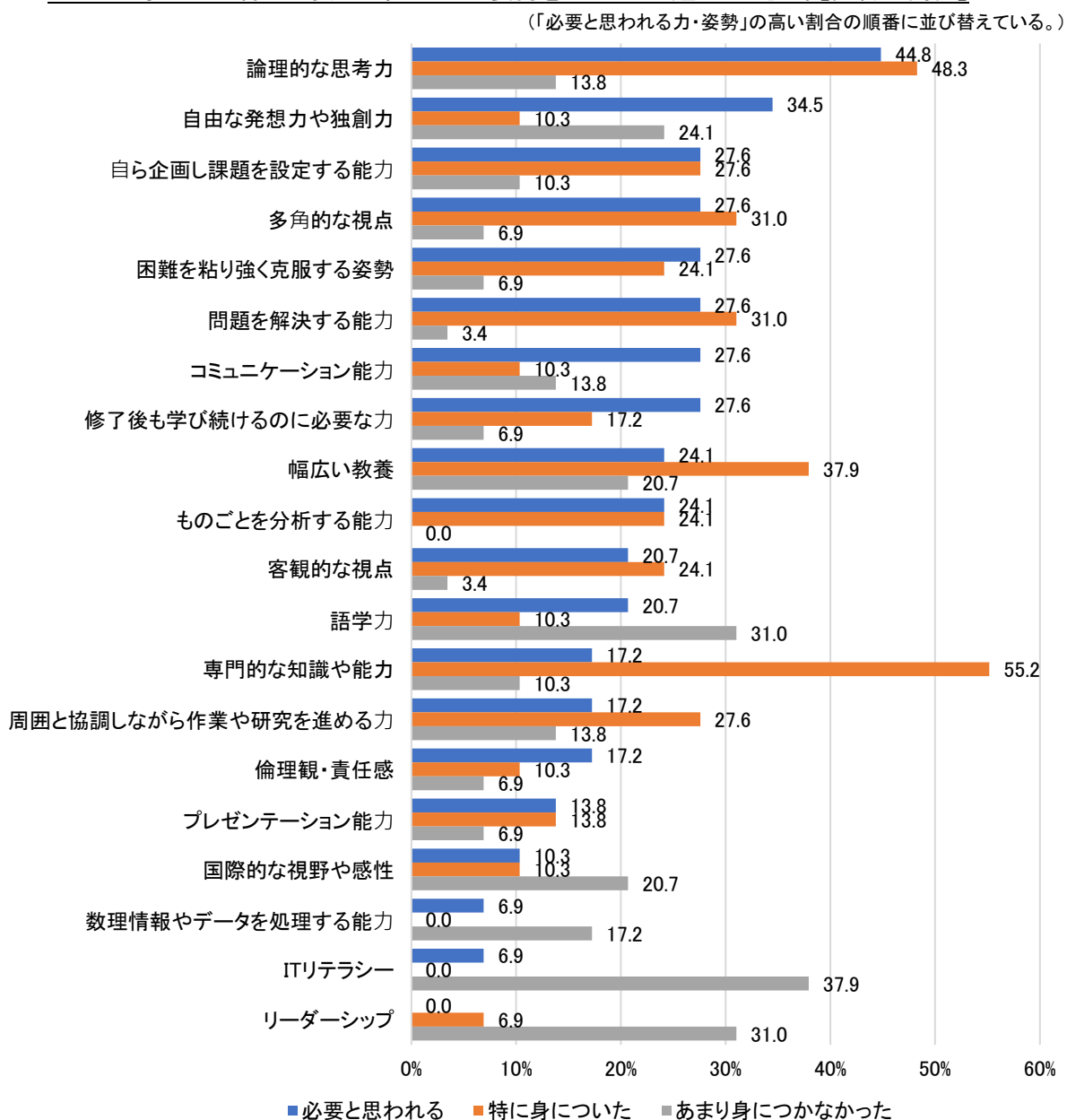
図 17 研究科別回収率



### Ⅲ-2 能力、姿勢、態度

- ・「幅広い教養」「専門的な知識や能力」「周囲と協調しながら作業や研究を進める力」の「特に身についたと思われる力・姿勢」は、「特に必要と思われる力・姿勢」と比して割合が特に高くなっている。一方、「自由な発想力や独創力」「コミュニケーション能力」「修了後も学び続けるのに必要な力」「語学力」の「特に身についたと思われる力・姿勢」は、「特に必要と思われる力・姿勢」と比して割合が特に低くなっている。
- ・約4割の学生が「ITリテラシー」があまり身につかなかったと回答している。

図 18 大学を通じて特に身についたと思われる力・姿勢、あまり身につかなかったと思われる力・姿勢、これから学ぶ人に特に必要と思われる力・姿勢を5つまでお選びください。【回答の割合】

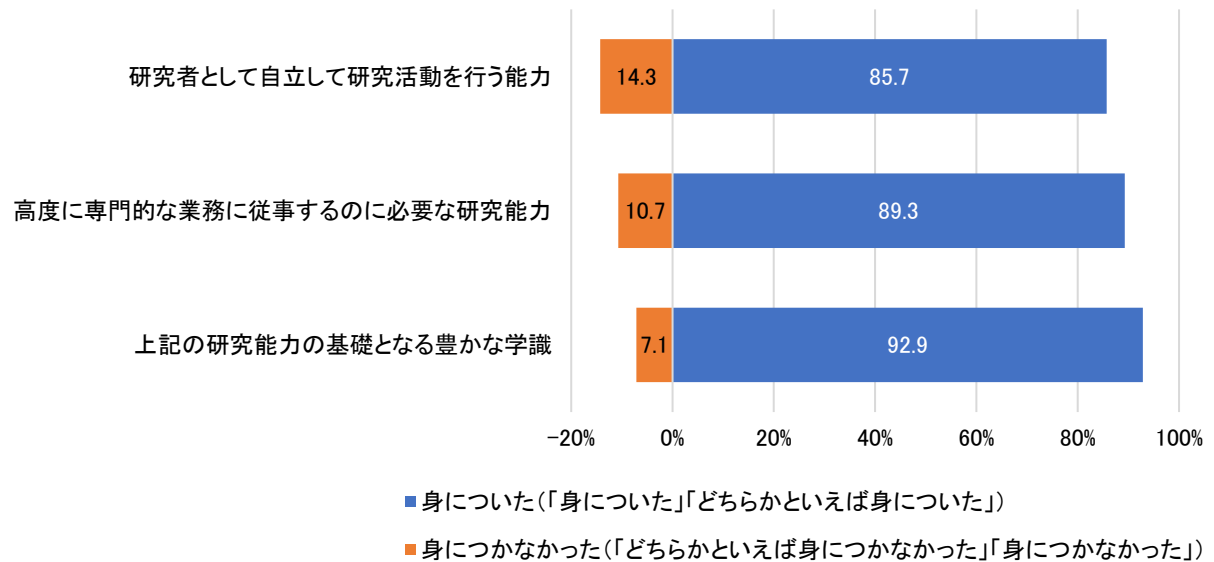


※ 回答の割合は、選択した回答数／全体の回答者数で計算した。

### Ⅲ-3 大学院課程のディプロマ・ポリシーに関連する項目で身についた点

・ 全ての項目で「身についた」の割合が8割以上となっている。(図 19)

図 19 自分がどの程度身につけられたと思うかをお答えください。【回答の割合】

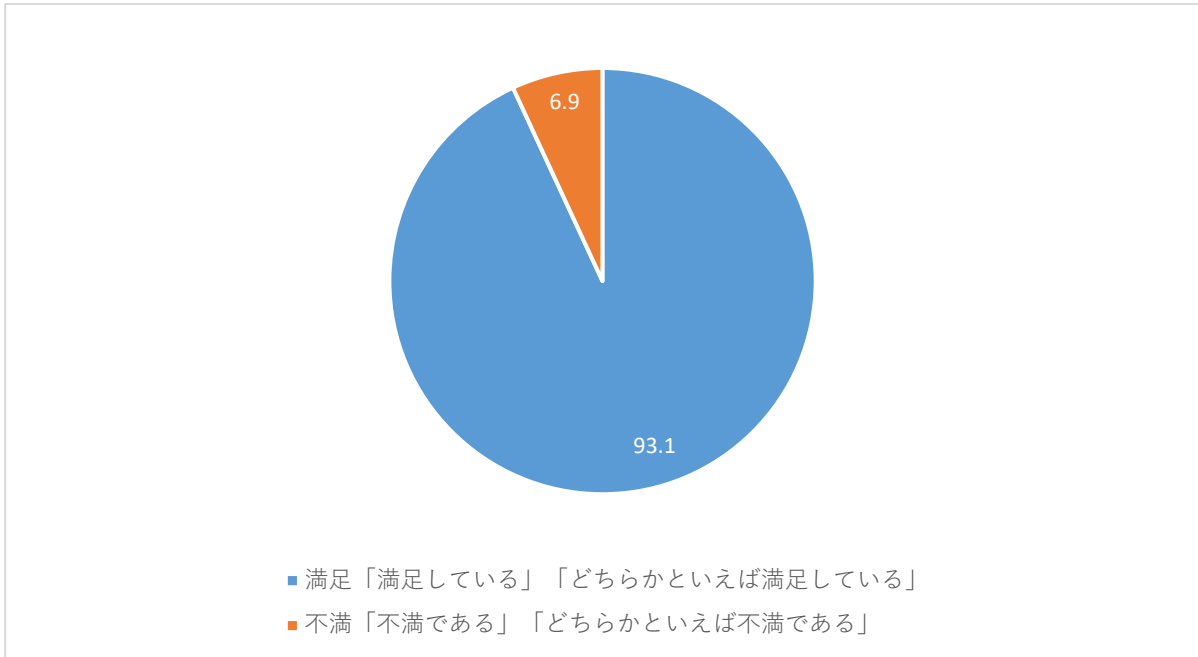


※回答の割合について、「身についた」の回答の割合は横軸の正の値、「身につかなかった」の回答の割合は横軸の負の値で示している。

### Ⅲ-4 教育に関する総合満足度

・ 教育に関する総合満足度は 93.1%となっている。(図 20)

図 20 埼玉大学の教育に対して、総合的な満足度をお聞かせください。【満足度】



### Ⅲ-5 本学の推奨度

・ 本学の推奨度は、96.6%となっている。(図 21)

図 21 もしあなたの友人や家族、親戚等が埼玉大学の受験を検討していたら、どの程度推奨しますか。

#### 【推奨度】

